

令和8年度 带状疱疹ワクチンの 定期接種を実施します。

予診票請求



接種をご希望の方は、予診票をご請求ください（右上の二次元バーコードまたは下記まで連絡）。接種を受ける法的な義務はなく、自らの意思で接種を希望する方に行われます。

期間・対象者など

〈期間〉 令和8年4月1日～令和9年3月31日

〈対象者〉 ① 上記期間内に下記の年齢になる方

（期間内であれば、誕生日前でも接種可能）



年齢	生年月日	年齢	生年月日
65歳	昭和36年4月2日～ 昭和37年4月1日生まれ	70歳	昭和31年4月2日～ 昭和32年4月1日生まれ
75歳	昭和26年4月2日～ 昭和27年4月1日生まれ	80歳	昭和21年4月2日～ 昭和22年4月1日生まれ
85歳	昭和16年4月2日～ 昭和17年4月1日生まれ	90歳	昭和11年4月2日～ 昭和12年4月1日生まれ
95歳	昭和6年4月2日～ 昭和7年4月1日生まれ	100歳	大正15年4月2日～ 昭和2年4月1日生まれ

※令和7年度から5年間の経過措置として、その年度に 70、75、80、85、90、95、100歳 になる方も対象となります。

② 60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方（身体障害者手帳1級相当。接種の際は障害者手帳を持参）

※ ①②に該当する方でも、過去に带状疱疹ワクチンを接種完了（生ワクチン1回または組換えワクチン2回）し、接種を行う必要がないと認められる方は助成の対象外です。

〈接種場所〉 指定医療機関（予診票と一緒にリストを送付します）

〈自己負担額・接種回数〉

生ワクチン： 4,000円（1回接種）

組換えワクチン： 11,000円／1回（2回接種）

※ ワクチンをひとつ選び接種します。交接種は認められません。

※ 生活保護受給者は免除。生活保護受給証明書または生活保護医療券が必要です。

※ 期間外・規定回数超えの接種は、全額自己負担になります。

〈持ち物〉 予診票・本人確認書類（マイナンバーカード・運転免許証など）

うるま市
ホームページ



裏面もご確認ください

带状疱疹は、痛みを伴う皮膚の病気です

- 带状疱疹は、水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、痛みを伴う水疱（水ぶくれ）が現れる皮膚の病気です。
- 合併症の一つに、皮膚の症状が治った後にも痛みが残ることがあり、日常生活に支障をきたすこともあります。



带状疱疹ワクチンは2種類あります

- 带状疱疹ワクチンには2種類あり、接種方法や、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

◎ワクチンの特徴

	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK 社)
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
接種回数と間隔	1回	2回(2か月以上の間隔をあける)※
接種条件	病気や治療によって、 免疫の低下している方は接種できません	免疫の状態に関わらず接種可能

(※) 病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。

◎带状疱疹に対するワクチンの予防効果

	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK 社)
接種後1年時点	6割程度	9割以上
接種後5年時点	4割程度	9割程度
接種後10年時点	—	7割程度

注 带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

◎ワクチンの安全性

- ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。
- 頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

主な副反応の発現割合	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK 社)
70%以上	—	疼痛※
30%以上	発赤※	発赤※、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感※、熱感※、腫脹※、疼痛※、硬結※	頭痛、腫脹※、悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感※、倦怠感、その他の疼痛

(※) ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚生労働省にて作成

◎他のワクチンとの同時接種について

- 带状疱疹ワクチンは、医師が特に必要と認めた場合に、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン等と同時接種が可能です。
- 生ワクチンについては、他の生ワクチンと27日以上の間隔を置いて接種してください。

◎接種を受けた後の注意点

- ワクチンの接種後30分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。
- 注射した部分は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。
- 当日の飲酒、激しい運動は控えるようにしてください。

厚生労働省
ホームページ



予防接種健康被害救済制度があります

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすることはできないことから、救済制度が設けられています。

制度の利用を申し込むときは、予防接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。